

「部活動を充実させていくために…」

部活動は、学校の教育活動の一つとして位置付けられ、生徒の健全育成に大きな役割を果たしています。また、生徒の自主性を重んじ、生徒同士が互いに協力し合って友情を深めるなど、望ましい人間関係を育てる上でも多くの期待が寄せられます。顧問の指導の下、生徒の能力・適性、興味・関心等に応じつつ、適切に行われることによって「生きる力」の育成に大きく貢献できる活動です。

このように部活動は、単に生徒の自主的な活動による資質向上と生涯にわたって文化やスポーツ等に親しむ態度を養うだけでなく、学校の教育目標の実現に向けても効果が期待されるものです。生徒同士や顧問との人間的な触れ合いによる人間形成の場としても、また、保護者・地域から期待される健全な心と体を育てる場としても、さらに、生き生きとした中学校生活を送る上での重要な柱としても、部活動を充実させていくことが大切です。



中学校での部活動を利用し、心身ともに健康な学校生活を送りましょう。

…しかし、集団で活動するためには様々なきまりがあります。それぞれの部活動で決められていることもあります。

例えば

- ・学校や部活動のルールを守る
- ・あいさつ、返事をする
- ・練習場所、用具を整備する
- ・時間を守る
- ・欠席等の連絡を徹底する
- ・新入部員へ健康の配慮をするなど、改めてご家庭で確認する必要もあるかと思えます。

板橋区立小中学校感染症予防ガイドライン(令和5年4月1日)では、顧問による健康観察はもとより生徒に自らの体調管理を確実に実施させることを前提とした上で、少なくとも平日に1日、土日に1日の休養日を設定し、部活動は週5日間以内を原則とする。1日の活動時間は、平日は2時間、土日は3時間の上限の中で週当たり8時間以内。(長期休業期間中は1日当たり3時間。週3日。週当たり9時間を上限、土日は可能な限り避ける)としています。

板橋区立中学校では、部活動の意味や役割を改めて確認し、生徒・保護者・顧問教員等にとって、魅力ある充実した部活動となるよう、現在の部活動を見直す機会をつくることにしました。

…そこで、

板橋区教育委員会・板橋区立中学校長会では、毎年5月第二月曜日を「部活動の日」とします。

令和5年度は5月8日(月)を「部活動の日」として、

- ・生徒が部活動を支えてくれている家族・保護者や指導者に感謝する日
- ・指導者が部活動の指導のあり方を考える日
- ・家庭、地域が部活動の意義について再認識する日にします。



生徒・保護者・教員が、学校・家庭・地域と一緒に部活動の目的を振り返るとともに、部活動の充実・発展について考えたり、話し合ったりする機会としたいと思います。

部活動については、地域移行に向けて検討を重ねています。その事業の一つとして「いたばし地域クラブ」を発足し、「女子サッカー、eスポーツ、科学技術」の3クラブの活動を始めます。引き続き、よりよい部活動改革に向け、努力してまいります。